

議員定数問題で意見を聴く会を開催

10名の市民が意見を陳述

高島市議会は去る3月18日、「議会定数は何名が適当か？市民各層代表から意見を聴く会」を市議会議場で開催しました。

「―聴く会」には、議長推薦の5名と会派推薦の5名を合わせた10名の市民の皆さんが、1人10分以内で、具体的な「定数」、「その理由」、また「市議会へ期待すること」の3点について述べられました。

その要旨は、次のとおりです。（発言者名は伏せています。）

	定数	その理由	市議会への期待
Aさん	18人	○高島市の財政事情も考えて18名とすることで、約6千万円が削減できる。	○5年後、10年後に今回の決断（削減）が、正しかったと言えるよう頑張してほしい。
Bさん	18～20人	○県内の現状と動向を参考にして18から20というのが私が妥当と思うところである。	○フットワークのいい方を選びたい。少数精鋭が市民の声である。
Cさん	軽々に減らすべきでない	○「少なければ少ないほうがよい。」という論理は、議会の自殺行為につながる危険な考えである。	○市議会の大切な役割をどうすればより発揮できるのかを、腰を落ち着けて時間をかけて検討すべきである。
Dさん	徐々に	○議員数の減少は、空白地域が生まれると共に、益々民意が反映されなくなることへの懸念がある。	○市民は、現場へ駆けつけて意見を聞いていただけるだけでも、納得することは多い。
Eさん	20人	○高い高い価値観をお持ちの方に携っていただきたいし、利益代表ではなく善良な市民の代表であってほしい。	○「徳」を以って、政（まつりごと）を行ってほしい。高島のために公の心で語れるように。
Fさん	20人	○議員各位の英知を結集されたら、20名でも議会の役割は十分果たせると考える。	○貧者の心意気を忘れないで、これからも我々と共に、住民の信託に応えてほしい。
Gさん	20人	○人口、面積から見て、市の自治に関する事柄について、意思決定機関として適当と思う。	○責任と自信と誇りを持って、その職にあたっていただき、常に五事を正すことを忘れないで。
Hさん	20人	○最低でも20名、できれば16名までの想定範囲内で真剣にやるべきである。	○議員の素養、素質の向上と、広域性を持った議員を多く育てる。
Iさん	20人	○少数精鋭で議会運営が行われることを望む。	○住民との意見交換の場を設けていただくなどの工夫により、市議会が市民にとってより身近となればと思う。
Jさん	20人	○面積の話、他の市との比較の話等を考えると妥当と考える。	○議員一人ひとりのレベルと意識と志があれば、議員の目も高まり見えてくるエリアも広がる。

議員定数 20人で決着

議員発議で提案、可決

高島市議会は最終日の3月30日、これまでの議員定数「30人」を「20人」とする条例案を議員発議で提案し、賛成多数で可決しました。

これにより、次回の高島市議会一般選挙から定数20人で執行されることとなります。

議員定数削減問題は、昨秋から定例会の度に検討協議を重ねると共に、去る3月18日には「―意見を聴く会」を開催しました。これを受け、市議会は27日に開いた議員全員協議会でこれまでの積み上げを総合判断して、提案に至ったものです。

各支所の紹介 4 ー安曇川支所ー

議会広報で各支所の機構についてシリーズでお知らせいたします。

